

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	観光客誘致宣伝事業			事業コード	1293
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	小笠原 千春	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 観光客誘致宣伝事業(002-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 不明年度~)		
事務事業の概要	観光ガイドブックやマップの作成・配布, 観光客誘致のPR活動					
根拠法令等	盛岡市観光推進計画, 盛岡市総合計画					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
観光振興が地域経済の活性化や雇用機会の増大に大きく貢献することから、盛岡の魅力を外に発信し、観光客誘致に向けたPR活動を行っている。平成11年3月に「盛岡市観光推進計画」を定め、各種の観光振興施策を推進していたが、18年1月の玉山村との合併に伴い、計画期間を前倒しし、20年3月に新計画を定め、これに基づいて積極的な誘客宣伝活動を展開している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
本事業の指針となる「盛岡市観光推進計画」は、市民や議会、観光関係団体、関係事業者などの意見を踏まえ、盛岡市観光審議会で内容を協議して作成した。市民や関係者から寄せられた主な意見・要望としては、市域を越えた広域観光圏のPR活動、外国人観光客向けの情報発信と誘致活動、長期滞在型観光の旅行商品の宣伝などで、盛岡の観光振興に向けて重点的に取り組むべきと期待されている。また、平成23年3月の東日本大震災により、観光産業をはじめ本県の産業経済全体が大きなダメージを受けたが、震災復興と地域再生に向けて、観光産業を核とした地域経済の立て直しと活性化への期待は大きく、観光客の誘致に積極的に取り組むべきとする意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
観光立国推進基本法が平成19年1月に施行され、観光立国の実現に向けて20年1月、観光庁が設置された。外国人観光客が増え、国際観光が進展する一方、国内マーケットは、観光・レクリエーションや旅行ニーズの多様化、長引く景気の低迷などにより、観光地間の競争が激化している。本市の観光客入込数は、映画「壬生義士伝」(平成15年)やNHK連続テレビ小説「どんと晴れ」(19年)などによる知名度アップの効果もあって順調に増えてきたが、岩手・宮城内陸地震や景気の低迷による影響が大きく、20年以降は若干落ち込んでいる。近年はスキー客の減少や冬場の宿泊客の落ち込みが顕著で、冬期の誘客が課題となっている。22年12月に東北新幹線が全線開通し、新型車両「はやぶさ号」の運行開始直後、東日本大震災に見舞われたが、24年の「いわてデスティネーションキャンペーン」(DC)に向けて、23年度にプレキャンペーンが行われる予定であり、観光客の入込み増が期待されている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 観光客入込数	単位	万人回
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 観光ガイドブックやマップの作成・配布, 各種キャンペーンでの活用  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 観光ガイドブックやマップの作成・配布, 各種キャンペーンでの活用	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 観光ガイドブック作成数	単位	千部
				B. 盛岡マップ作成数	単位	千部
				C. 各種観光キャンペーン	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡のイメージアップによる観光客数増	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数	単位	万人回
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				B.	単位	
	【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】					
	C.	単位				
	【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】					
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光客入込数	万人回	472	459	466	444	472	478	26年度 490
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	観光ガイドブック作成数	千部	40	40	50	45	40	40	26年度 40
活動 指標B	盛岡マップ作成数	千部	150	203	90	90	120	120	26年度 120
活動 指標C	各種観光キャンペーン	回	4	4	4	4	5	5	26年度 5
成果 指標A	観光客入込数	万人回	472	458	466	444	472	478	26年度 490
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	20,213	28,317	34,546	32,106	25,836	26,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円		9,051	15,768	12,968	10,879	0	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	20,213	19,266	18,778	19,138	14,957	26,000	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	20,213	28,317	34,546	32,106	25,836	26,000	*****
	延べ業務時間数	時間	500	480	480	480	480	480	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,000	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	22,213	30,237	36,466	34,026	27,756	27,920	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている 理由：観光客の誘致に寄与している。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である 理由：盛岡のイメージアップや知名度向上による観光客誘致拡大を図るもので、市や関係機関、観光関係団体、関連事業者の個々の取組を包括的に推進する必要がある。 理由：盛岡のイメージアップや知名度向上による観光客誘致拡大を図るもので、市や関係機関、観光関係団体、関連事業者の個々の取組を包括的に推進する必要がある。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である 理由：各種観光統計や民間の動向調査などを基に、特定の地域や階層などを重点化して誘客宣伝事業を展開している。
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である 理由：観光客の増加により地域の活性化が図られ、観光地としての魅力が高まる。
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない その内容：観光客の動向やニーズの的確な把握、それに対応した施策の展開
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある その内容：観光客へのサービスの低下、イメージダウン、観光客の減少
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない 事業名： ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容：県や広域市町村と連携し、誘客宣伝事業を行っているが、さらなる連携の強化と事業の効率化は可能と考えられる。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない 理由：観光客誘致に必要な他団体との連携のための経費は必要最小限としている。なお、事業費には緊急雇用対応の人員費が含まれており、目的達成の段階で見直しは可能と思われるが、観光客誘致のためのパンフレット類は引き合いが多く、削減は難しい。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない 理由：平成20年にグループ制を導入し、効率的な組織運営に努めており、人件費・業務時間数の削減はできない。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない 理由：観光客の増加によってもたらされる効果は、市民や地域経済に還元されることから、受益機会は公平・公正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない 理由：各種キャンペーンの実施に当たっては実行委員会を組織し、その費用は自治体や企業などが負担している。費用負担の考え方として、観光ガイドブックやマップなどの企画内容の充実、質の向上、作成部数拡大のための有料化は、今後の検討課題と考えられる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 観光ガイドブックやマップなどの企画内容の充実、質の向上、有料化の検討</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 観光客の動向やニーズの的確な把握, それに対応した施策の展開。ガイドブックなどの有料化に対する観光客の反応など。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり ② 有効性      ○ 妥当                      ● 見直し余地あり ③ 効率性      ○ 妥当                      ● 見直し余地あり ④ 公平性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>いわてデスティネーションキャンペーン(平成24年4~6月)の開催決定, NHK朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」の台湾でのテレビ放映, 「どんど晴れ」続編の放映決定(23年4月放映予定), 新幹線の新青森延伸などにより, 北東北への関心が高まると期待されることから, 広域連携をさらに強化し, 効果的・効率的な誘客宣伝活動を行う必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>広域のスケールメリットを活かした各種キャンペーンなど, 効果的・効率的なPRを実施する。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									